

農業と福祉の連携による障がい者雇用の促進・安定化 (タマアグリ株式会社)

＜法人の概要＞

所在地：福岡県筑後市

設 立：平成21年 6 月

資本金：4,000万円

売上高：1 億300万円（農業7,400万円、印刷業2,900万円）（平成25年）

役 員：4 名（うち農業従事者 2 名）

従業員数：28名（うち障がい者20名）

経営面積：2.9ha

営農作物：アスパラ、リーフレタス、たまねぎ、オクラ、里いも等



タマアグリ本社



ほ場での作業風景

＜農業参入に至った経緯・動機＞

タマアグリ株式会社は、木造ハウスメーカーのタマホーム株式会社（東京都）の子会社として、福岡県筑後市において平成21年に設立された会社である。

タマホームでは、障害者雇用促進法による法定雇用率を達成するため、一般事務職を中心に採用を進めたものの、社内の認知も少なく、雇用した障がい者も短期間で退職する状況にあった。このため、障がい者が明るくやりがいを持って仕事ができる労働環境を提供することがベストと考え、特例子会社（企業が障がい者の雇用を促進する目的で作る子会社）を新たに設立し、農業に参入することになった。

＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

タマホームが筑後市発祥の企業であったため、筑後市に農業参入について相談したところ、市が策定した農業経営基盤強化の促進に関する基本構想に企業の農業参入を新たに位置付けるとともに、市及び農業委員会が地域との仲介を行うなど行政の積極的な支援もあって、1 haのまとまった休耕農地を借りることができた。

生産品目は、障がい者の作業能力を踏まえた上で周年雇用を可能とすることを前提に、管理や収穫に比較的手間がかからないアスパラやリーフレタス、キャベツなど数種類を選定し、平成21年から生産を開始した。

＜営農開始から現在まで＞

障がい者の雇用に当たっては、人員の募集のほか、各個人への指導やケアなどについて、障がい者支援組織等と連携して行っている。

障がい者の作業の効率性を考えると、ほ場回転率を上げるのが難しく、収益面ではやや厳しい状況にあるが、経営面積については現在2.9haまで拡大しており、高収益性の作物の検討・導入など黒字経営を目指し努力を続けている。また、営農技術向上のため、近隣の農家に営農指導を委託しているところである。

生産した農産物は、JAやスーパー、直売所での販売や、学校給食の材料として提供しており、一部は住宅販売の販促用として顧客に配られるなど、親会社のイメージアップにも寄与している。

また、今年からは、作業補助として近隣農家の方を1日2時間程度の短時間で雇用している。農家とのふれあいの機会を設けることで、タマアグリの取組への理解の浸透を図りつつ、障がい者が明るく楽しく仕事ができる環境を構築しているところである。

＜今後の農業経営の展開方向＞

経営面積は今以上に拡大させることは考えていないが、作業効率の向上や付加価値の高い新たな作物の検討、加工品の開発やネット通販による販路の拡大などにより、さらなる収益の向上を図っていくこととしている。

＜今後農業に参入しようとする法人に対するアドバイスや行政への要望事項など＞

障がい者の作業環境の改善に利用できるよう、施設整備や井戸の掘削等、ニーズに合った補助事業を望んでいる。

企業の農地取得に関しては、「障がい者の雇用」という視点で考えれば、地域農家との繋がりを確保できる点で、所有ではなく貸借形式が望ましい。



アスパラの出荷調整作業風景



出荷を待つアスパラ